

# 錦江に生きる

ふたり目

笑喜しょうき

誠まことさん  
(笑喜下自治会)



▲乾燥させた葉タバコの袋詰めを行う誠さん



▲只今、スクワット中



このコーナーでは、町内でこれから根を張っていこうと頑張っている若者を中心に紹介していきます。  
第2回目は、笑喜下自治会の笑喜誠さんです。

宿利原地区で両親と農業(大根・葉タバコ)を営む笑喜誠さんは、綺麗に剃りあげたスキンヘッドにあこひげ、プロレスラーのような巨体と一見近寄りがたい風貌である。しかし、実際は「根は優しくて力持ち」を地で行く好青年である。

誠さんは、農業大学校を卒業後、家業を継いだ。当時は、「まずは規模拡大に取り組もう」と決めていたという。10年経った現在、親子三人で数倍の規模拡大に成功した。現在県農業青年クラブの会長を務めており、若い就農者と交流を深めながら品種や土壌などの研究にも取り組んでいる。

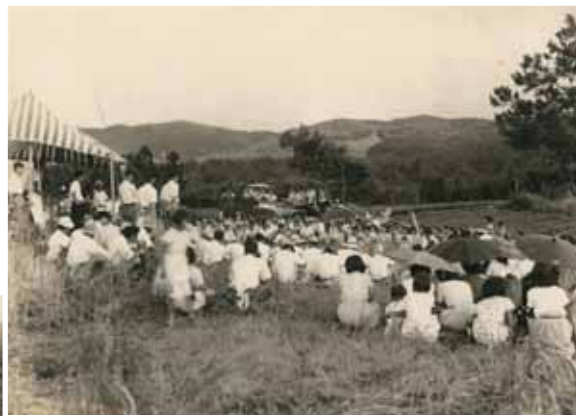
誠さんは地域活動などにも積極的に取り組み、青年団活動では町や肝属地区の役員を歴任し、現在は宿利原青年団としてたった一人で活動している。

趣味はスポーツ観戦。自分でするより観る方が楽しいと言うが、仕事の合間には黙々とスクワットをこなす。

誠さんがこれだけは言いたいと訴えたのが「若者にもっと地域に根付いて欲しい。もっと錦江町の将来を考えて欲しい。」だった。そして、「恋人募集中と載せてください。」

とも…。おちやめさんである。

昭和25年頃の  
田代地区の茶摘採  
競技大会の風景。



▲表彰式の全体写真

▼真剣なまなざしの出場者



◀競技中の一枚



# 錦江町思ひ出写真館